

さわやか医信 みんなのきずな



2022 * DISCLOSURE

～信頼される医信を目指して～



(令和4年9月30日現在)

さわやか医信 みんなのきずな

富山県医師信用組合

◎はじめに

富山県医師信用組合は、金融を通じて組合員である先生方の医業経営に関する事業の発展に寄与し、ひいては地域住民の医療および健康管理にお役に立ちたいと日々努力をしております。

ここに、令和4年度上半期（令和4年4月～9月）における当組合の経営情報を取りまとめましたので、ご理解を深めていただくための資料として、ご高覧いただければ幸いです。

これからも、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

令和4年11月

富山県医師信用組合

理事長 馬瀬 大助

◎事業方針

■基本的な考え方（経営理念）

当組合は昭和40年6月の創業以来、医業域信用組合として、組合員である開業医・勤務医の先生方に対し、相互扶助の精神を基本に、医業経営のアシスタントとなり、ひいては地域医療の発展に寄与することを経営理念としております。

■経営方針

- (1) 健全経営を念頭に、正確な事務処理、迅速な対応、親身な対応で良質な金融サービスの提供に努めることとします。
- (2) 法令等遵守を経営上の最重要課題のひとつと位置づけ、誠実かつ公正に業務を遂行します。

■運用方針

- (1) 組合員のニーズを発掘して、貸出金の増強に積極的に取り組みます。
- (2) 有価証券の運用は、安全性を重視した安定的な運用収益の確保に努めます。
- (3) 信用リスクや金利リスク等全てのリスクを認識し、統合的なリスク管理を実施します。

◎令和4年9月末仮決算の状況

■主要勘定

(単位:百万円、名)

勘定科目	3年9月末	4年9月末	前年同月比
預金・積金	37,469	38,774	1,305
貸出金	6,413	6,768	354
預け金	15,992	14,166	△1,826
有価証券	25,361	25,690	329
経常収益(A)	182	186	4
経常費用(B)	91	84	△7
経常利益(A-B)	90	102	11
業務純益	88	102	14
コア業務純益	84	102	18
コア業務純益 (投資信託解約損益を除く)	84	102	18
当期純利益	67	76	9
組合員勘定合計	4,582	4,669	86
(うち出資金)	44	43	0
組合員数	1,330	1,330	0

◎貸出金業種別残高・構成比

(単位:百万円、%)

業種別	令和3年9月末		令和4年9月末	
	金額	構成比	金額	構成比
金融・保険業	—	—	—	—
医療・福祉	4,295	67.0	4,221	62.4
個人	2,118	33.0	2,547	37.6
合計	6,413	100.0	6,768	100.0

◎有価証券時価情報

■満期保有目的

該当ありません。

■その他保有目的(令和4年9月末)

(単位:百万円)

	取得原価	B/S計上額	評価差額	うち益	うち損
国債	5,507	5,430	△77	155	232
地方債	2,099	2,081	△18	30	49
社債	14,599	14,414	△185	84	269
株式	2,003	2,313	309	320	10
投資信託	—	—	—	—	—
外国証券	1,504	1,451	△52	0	53
合計	25,715	25,690	△24	590	615

■令和4年9月末貸借対照表

(単位:千円)

科 目	金 額	
	令和3年9月末	令和4年9月末
(資 産 の 部)		
現金	70,795	57,058
預け金	15,992,270	14,166,421
買入金銭債権	300,000	300,000
有価証券	25,361,103	25,690,495
国債	4,980,260	5,430,210
地方債	3,379,300	2,081,280
社債	14,538,730	14,414,290
株式	1,248,030	2,313,067
投資信託	—	—
外国証券	1,214,783	1,451,648
貸出金	6,413,665	6,768,652
割引手形	—	—
手形貸付	107,110	163,595
証書貸付	6,187,535	6,490,000
当座貸越	119,019	115,055
その他資産	97,008	92,365
未決済為替貸	—	90
全信組連出資金	34,700	34,700
未収収益	58,006	55,482
仮払金	90	423
その他の資産	4,211	1,669
有形固定資産	27,110	24,445
建物	22,689	20,955
土地	—	—
リース資産	—	—
建設仮勘定	—	—
その他の有形固定資産	4,420	3,489
無形固定資産	2,157	2,135
ソフトウェア	2,157	2,135
のれん	—	—
リース資産	—	—
その他の無形固定資産	—	—
繰延税金資産	—	51,698
再評価に係る繰延税金資産	—	—
債務保証見返	86,034	79,978
貸倒引当金	△67,636	△106,334
(うち個別貸倒引当金)	△30,384	△71,334
資 産 の 部 合 計	48,282,509	47,126,915

(単位:千円)

科 目	金 額	
	令和3年9月末	令和4年9月末
(負 債 の 部)		
預金積金	37,469,595	38,774,891
当座預金	—	—
普通預金	11,391,230	12,698,214
通知預金	—	—
定期預金	25,275,712	25,403,544
定期積金	715,154	595,319
その他の預金	87,499	77,812
借入金	5,200,000	3,500,000
その他負債	53,150	48,451
未決済為替借	1,670	2,179
未払費用	27,404	25,739
給付補てん備金	867	637
未払法人税等	19,130	15,670
未經過収益	3,172	3,363
未払諸税	714	621
払戻未済持分	190	240
退職給付引当金	55,841	58,700
役員退職慰労引当金	22,105	12,985
繰延税金負債	198,717	—
再評価に係る繰延税金負債	—	—
債務保証	86,034	79,978
負 債 の 部 合 計	43,085,443	42,475,007
(純 資 産 の 部)		
出資金	44,120	43,950
普通出資金	44,120	43,950
優先出資金	—	—
利益剰余金	4,538,764	4,625,867
利益準備金	45,140	45,140
その他利益剰余金	4,493,624	4,580,727
特別積立金	4,400,000	4,400,000
(うち目的積立金)	—	—
当期末処分剰余金	93,624	180,727
(又は当期末処理損失金)	—	—
組 合 員 勘 定 合 計	4,582,884	4,669,817
その他有価証券評価差額金	614,181	△17,908
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	614,181	△17,908
純 資 産 の 部 合 計	5,197,066	4,651,908
負債及び純資産の部合計	48,282,509	47,126,915

令和4年9月末損益計算書

(単位:千円)

科 目	令和3年9月末	令和4年9月末
経常収益	182,215	186,726
資金運用収益	168,880	182,638
貸出金利息	28,418	28,587
預け金利息	8,596	9,745
有価証券利息配当金	129,815	142,164
その他の受入利息	2,049	2,140
役務取引等収益	1,729	1,622
受入為替手数料	1,172	1,123
その他の役務収益	557	499
その他業務収益	8,501	1,532
国債等債券売却益	6,835	—
国債等債券償還益	28	8
その他の業務収益	1,637	1,524
その他経常収益	3,103	933
貸倒引当金戻入益	2,255	637
償却債権取立益	—	—
株式等売却益	848	—
その他の経常収益	—	296
経常費用	91,701	84,311
資金調達費用	14,291	11,960
預金利息	14,810	12,698
給付補てん備金繰入額	417	297
借入金	△936	△1,035
役務取引等費用	3,933	3,843
支払為替手数料	1,309	959
その他の役務費用	2,623	2,883
その他業務費用	2,595	—
国債等債券売却損	2,576	—
国債等債券償還損	19	—
国債等債券償却	—	—
その他の業務費用	—	—
一般貸倒引当金繰入額	—	—
経費	69,868	67,469
人件費	37,550	40,085
物件費	31,912	27,062
税金	406	321
その他経常費用	1,012	1,037
貸倒引当金繰入額	—	—
貸出金償却	—	—
その他資産償却	—	—
その他の経常費用	1,012	1,037
経常利益	90,513	102,415

(単位:千円)

科 目	令和3年9月末	令和4年9月末
特別利益	—	—
固定資産処分益	—	—
負ののれん発生益	—	—
償却債権取立益	—	—
その他の特別利益	—	—
特別損失	—	3
固定資産処分損	—	3
減損損失	—	—
その他の特別損失	—	—
税引前当期純利益	90,513	102,412
法人税・住民税及び事業税	22,147	21,388
法人税等調整額	956	4,031
当期純利益	67,409	76,992
前期繰越金	26,215	103,734
積立金取崩額	—	—
当期末処分剰余金	93,624	180,727

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

◎単体自己資本の充実の状況

(単位:百万円、%)

	令和3年9月末	令和4年9月末
自己資本額	4,617	4,702
リスク・アセット等の合計額	19,042	20,585
単体自己資本比率	24.25	22.84

◎銀行勘定の金利リスク

(単位:百万円)

IRRBB (金利リスク)	令和3年9月末	令和4年9月末
Δ EVE (最大値)	1,416	1,571
Δ NII	67	86

◎金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額

当組合は、金融再生法に基づき、貸出金等の対象債権について、自己査定と引当を行っています。令和4年9月末現在の残高は次のとおりとなっております。

(単位:千円、%)

区 分	令和3年9月末	令和4年9月末
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	24,164	47,885
危険債権	53,211	42,000
要管理債権	7,820	—
不良債権計 (A)	85,195	89,885
正常債権	6,414,503	6,758,744
合計	6,499,699	6,848,630
担保・保証等 (B)	21,385	13,745
貸倒引当金 (C)	31,557	71,334
保全額合計 (D) = (B) + (C)	52,942	85,079
担保・保証等、引当金による保全率 (D / A)	62.14	94.65
貸倒引当金引当率 (C / A - B)	49.45	93.68
不良債権比率	1.31	1.31

- 注1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態に至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
3. 「要管理債権」とは、「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。
4. 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に問題がない債権で「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権です。
5. 「担保保証 (B)」は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
6. 「貸倒引当金 (C)」は、「正常債権」に対する一般貸倒引当金を控除した貸倒引当金です。

◎地域貢献

■地域に貢献する信用組合の経営姿勢

当組合は、相互扶助の精神を根幹に置き、金融を通して組合員である先生の医業経営発展のお手伝いをする事、このことが地域住民の医療や健康管理に寄与し、ひいては「地域貢献」に繋がると考えております。

■融資を通じた地域貢献

当組合は次の点を大切にして融資業務を推進してまいります。

- (1) ご融資のお申し出には、早急に結論を出し迅速な手続きをします。
- (2) ご融資の条件などは、先生のサイドに立って、「借りやすさ」を醸成します。
- (3) そのためにも、健全経営に徹し、組合員の皆様の一層の信頼が得られるよう努めてまいります。

■令和4年上期組合員融資の現状

(1) 融資残高の推移

(単位:百万円、先)

	令和3年9月末	令和4年9月末	前年同月比
残高	6,413	6,768	355
年間増加額	36	355	319
利用者数	259	262	3

(2) 資金用途別組合員貸出利用状況

(単位:件、百万円、%)

	件数	金額	構成比
中元・納税	10	48	5.1
教育資金	3	10	1.0
診療所等設備	37	745	78.6
運転資金	4	18	1.9
他行肩代わり	2	124	13.0
合計	56	947	100.0

富山県医師信用組合

〒939-8222 富山市蜷川336番地

電 話 (076) 429-6272

F A X (076) 429-6467

<https://www.toyamadcu.co.jp/>